

ひと笑顔あふれ
けんこう
輝く未来につながる健幸都市

第二次上田市総合計画
後期まちづくり計画

〈第2期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略〉

令和3年度～7年度

概要版



令和3年3月
上田市

後期まちづくり計画のポイント

ポイント1 第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」策定の趣旨

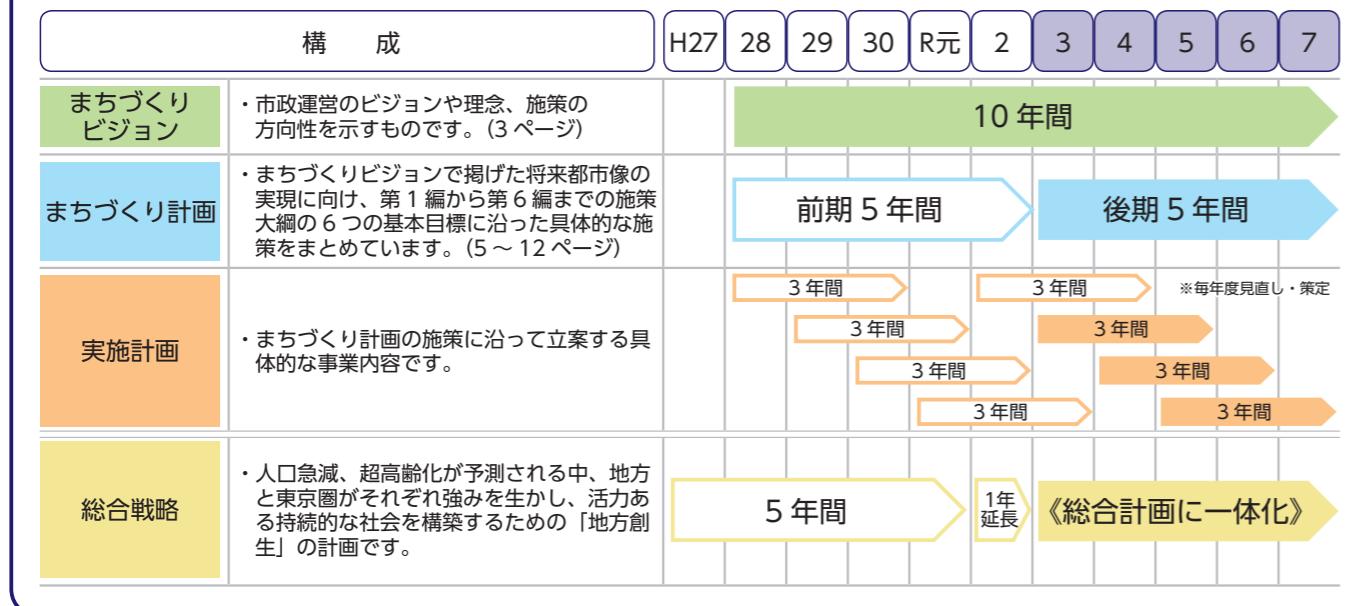
上田市は、平成28年3月、「第二次上田市総合計画」を策定し、平成28年度から令和7年度までの10年間にわたる「基本構想（まちづくりビジョン）」を示すとともに、令和2年度までの5年間を計画期間とする「前期まちづくり計画」を定め、社会情勢の変化や新たな課題に対応すべく、まちづくりを推進してきました。

人口減少・少子高齢社会が進展する中、今後の市民生活や市政に大きな影響を及ぼすことが懸念されており、また、財政面においても、今後合併市町村への財政優遇措置が終了する時期を迎えることから、これらの情勢変化を受け止めた行政経営の重要性が一層増しています。

令和2年度に前期まちづくり計画の目標年次を迎え、改めて市を取り巻く社会情勢の変化や、将来のまちの姿を展望して見えてくる変化・課題を踏まえ、基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、新たに令和3年度からはじまる5年間の「後期まちづくり計画」を策定しました。

総合計画の構成・期間

第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間です。



ポイント2 「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との一体化

本総合計画では、「第2期上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との一体化を図り、人口減少対策をより強化するとともに、地域社会の維持・活性化に向けた施策をさらに深化させ、市の持続的な発展と成長を目指し、一元的に取り組んでいくこととします。

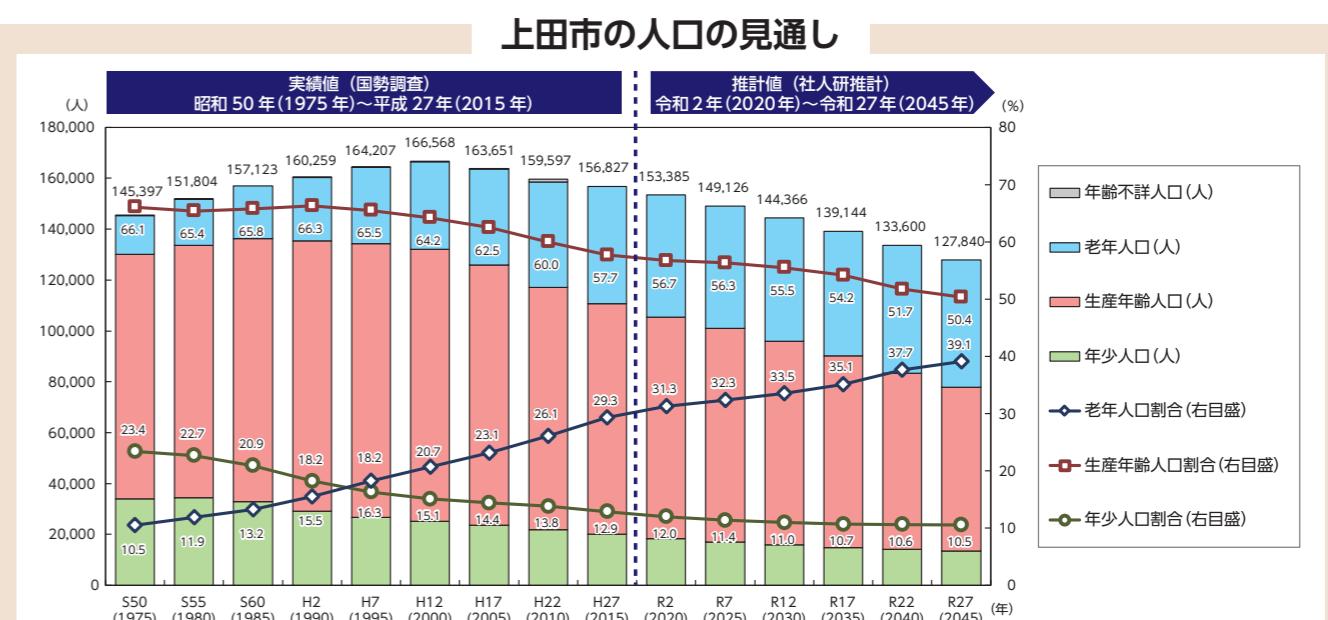
ポイント3 エスティージーズ全世界共通の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」の反映

SDGsは、平成27（2015）年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17の目標（ゴール）と169の行動目標（ターゲット）から構成されています。地球上の誰一人取り残さない社会の実現を目指し、全世界共通の目標として、「経済」「社会」「環境」の諸課題を統合的に解決することの重要性が示されています。

本計画では、このSDGsという世界共通のものさしを導入し、市の立ち位置や状況を客観的に分析するとともに、市の施策にSDGsのグローバルな課題解決を目指す目標を関連付け、持続可能な都市経営に努めていきます。

また、SDGsの目標を施策と紐付けすることにより、施策の実現に向けた方向性としてとらえるとともに、それぞれの分野間で目的を共有化し、市民・NPO・企業などの幅広い関係者との協働・連携により施策を推進し、上田市の未来に向けた持続的な発展を目指し取り組んでいくこととします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(資料)S50(1975)～H27(2015)：総務省統計局「国勢調査」、R2(2020)～R27(2045)：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」
(注)H27(2015)の年齢不詳人口は年齢3区分にそれぞれ按分してある。

- ✓ 国勢調査の結果によると、上田市の人口は平成12年の調査をピークに減少が続いている。
- ✓ また、「国立社会保障・人口問題研究所」（社人研）の人口推計によれば、今後さらに人口の減少傾向が続く見通しです。
- ✓ 高齢者の割合も増加しており、昭和55年に約1割であった老人人口（65歳以上人口）は、平成27年には約3割にまで増加し、令和27年には4割弱に達すると予測されています。

まちづくりビジョン

将来都市像

ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる 健幸都市*

ひと笑顔あふれ

市民が明るく健康で暮らせるまちは笑顔があふれます。誰もが暮らしやすい笑顔あふれるまちづくりを目指します。

輝く未来につながる

市民の力強い活動と若者が集まるまちづくりによって、未来に向けて、まちの活力、魅力、輝きを高めます。

健幸都市

市民一人ひとりが幸福を感じ、いきいきと健康に暮らせるまちづくりによって、上田市の持続的な発展を目指します。

* 健幸: 健康で幸せなこと。身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を送ること。

* 健幸都市: 人口減少・少子高齢化が急速に進む中、高齢になんでも地域で元気に暮らせる社会を実現するために、身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を営むことができるまち(スマートウェルネスシティ)

キャッチフレーズ

住んでよし 訪れてよし 子どもすくすく 幸せ実感 うえだ

住んでよし 訪れてよし

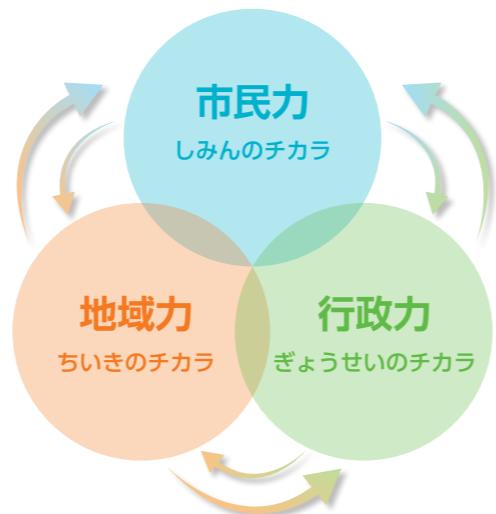
いつまでも住み続けたい！何度も訪れたいたい！住みたい！と思える「ふるさとうえだ」を目指します。

子どもすくすく 幸せ実感

子どもたちが、健やかに生まれ育ち、個性を伸ばし、「ふるさとうえだ」を大切に思い、夢や希望を持って上田の地で活躍していくことを願います。

基本理念

市民力、地域力、行政力、
それぞれが役割を果たし、
協働のもと、
まちの魅力と総合力を高めます。



指標体系

平成28年3月策定の「前期まちづくり計画」では、令和7年における上田市の将来目標人口を14万6千人以上に設定していましたが、平成30年3月公表の国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計によると、上田市的人口は令和7年に14万9千人と、将来目標人口に対し3千人程度増加すると予想されました。

しかしながら、令和27年には、平成27年の15万6千人から約8割に相当する12万8千人程度まで減少すると予想され、地域経済の縮小や地域コミュニティの担い手不足、年金・医療・介護を中心とした社会保障費用の増加など、様々な面に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

こうした中、「後期まちづくり計画」では、令和2年3月改訂の「上田市版人口ビジョン」での推計をもとに、計画全体の成果を測る最上位の指標として、令和7年における上田市の将来目標人口を15万人以上に設定し、後期5年間における地方創生の取組を推進していきます。

上田市版人口ビジョンによる推計



「KGI」(重要目標達成指標)「上田市の総人口」

平成27(2015)年 156,827人 ⇒ 令和7(2025)年 15万人以上

「CSF」(重要成功要因)《KGIを達成するための重要な要素》総合戦略の数値目標

内容	基準値	計画目標(令和7年度)
◆従業者数(全業種)	71,860人(平成28年)	73,000人
◆産業が元気なまちになっていると感じる市民の割合	12.8%(令和元年度)	20.0%
◆合計特殊出生率	1.52(平成30年)	1.61
◆社会移動(転入者数-転出者数)	▲68人(令和元年)	213人
◆健康寿命	女性:83.19歳 男性:78.92歳 (平成22年)	女性:延伸 男性:延伸

「KPI」(重要業績評価指標)《CSFの進捗状況を測る指標》(主なもの)

内容	基準値	計画目標(令和7年度)
●自治会や各種団体等で構成される住民自治組織の設立数	11組織(令和元年度)	市内全域で設立※最大15組織を想定
●市内路線バス輸送人員数	116.2万人(令和元年度)	115.0万人
●6次産業化認定事業所数(累計)	3事業所(令和元年度)	6事業所
●特定保健指導実施率	75.8%(令和元年度)	82.0%
●特色ある学校教育の取組に対する市民満足度	23.1%(令和元年度)	30.0%
●空き家情報バンクを利用した移住・定住者の数	25人(令和元年度)	250人(25人/年10年間)

施策体系・5つの重点プロジェクト

施策大綱=まちづくり計画各編
(編ごとの概要は7~12ページ)

第1編 自治・協働・行政		第2編 自然・生活環境		第3編 産業・経済		第4編 健康・福祉		第5編 教育		第6編 文化・交流・連携	
方 向 性	主 な 施 策	方 向 性	主 な 施 策	方 向 性	主 な 施 策	方 向 性	主 な 施 策	方 向 性	主 な 施 策	方 向 性	主 な 施 策
①市民協働推進プロジェクト <small>人口減少・少子高齢社会の進展とともに、社会情勢が大きく変動する中、地域が抱える課題や市民ニーズも多様化・複雑化しており、行政のほか、コミュニティ組織やNPOなど多様な主体の参画による持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくことが必要となっています。このような地域社会を支える多様な主体が市と協働し、まちづくりビジョンで掲げる基本理念のもと、これからまちづくりに欠かせない「公共私」の連携とともに、まちづくり計画に掲げる各分野の施策を「市民協働」の視点を持って推進します。</small>											
②人口減少・少子化対策プロジェクト <small>少子化の進行、人口減少は深刻さを増しており、人口（特に15歳から64歳までの生産年齢人口）の減少と高齢化を通じ、労働供給の減少、将来の経済や市場規模の縮小、地域・社会の担い手の減少、現役世代の負担の増加、行政サービスの水準の低下など、社会経済に多大な影響を及ぼします。このため、上田市の将来にわたる活力の維持と成長に向け、人口減少を見据えた行政経営と、人口減少に歯止めをかける取組を推進します。</small>											
③健幸*づくりプロジェクト <small>人口減少・少子高齢社会の進展に伴う社会保障費の負担増や医療費の増大が大きな課題となっている中、市民が健康を保ちながら働き続け、高齢になっても地域とかかわりや生きがいを持ち、幸福で豊かな生活を送ることが重要です。このため、健康・幸福をキーワードとした施策を市民協働の視点で庁内横断的に推進していきます。</small>											
④子育て支援プロジェクト <small>少子化の進展に歯止めをかけるためには、希望する数の子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組むことにより、子育て世代から選ばれるまちとなることが必要です。多くの人が家族を持つことや、子どもを産み育てる喜びや楽しさが実感でき、また、上田市の将来を担う子どもたちが、こころもからだも健やかに成長できるまちづくりを推進します。</small>											
⑤最先端技術活用プロジェクト <small>人口減少・少子高齢化の進展、頻発する大規模災害、新型コロナウイルスの影響など顕在化する様々な課題への対応と、未来に向けた新たな価値を創造するため、最先端技術の活用とともに、新たな社会の仕組みに変革する「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の実現が求められています。このため、行政サービスをはじめ、産業、健康・福祉、学び、交流など、暮らしを支える様々な分野で、最先端技術・デジタルツールの活用を図り、市民や利用者の視点からスマートシティ化を推進します。</small>							<img alt="Icon 1: People, Icon 2: Cafe, Icon 3: Book, Icon 4: Arrow, Icon 5: Female, Icon 6: Male,				



市民が主役のまちづくり

自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現

計画の概要

- 参加と協働による自治の推進
- 地域内分権による地域の自治の推進

新規・特徴的な施策

- ✓ ダイバーシティの視点を取り入れたまちづくりの人材発掘・育成と参画への仕組みづくり
- ✓ 住民自治組織の周知と活動への人的・財政的支援
- ✓ 「活力あるまちづくり支援金」による地域の主体的な活動の支援



▲カワニナ放流（押出川）

すべての人々の尊厳が尊重されるまちづくり

計画の概要

- 一人ひとりの尊厳が尊重される社会の実現
- 女性と男性が互いに尊重しあい、個性と能力を充分発揮できる社会の実現
- 外国籍市民の自立と社会参加による多文化共生社会の実現

新規・特徴的な施策

- ✓ 多言語相談ワンストップセンターの充実
- ✓ 日本語教育体制の充実



▲外国籍市民と共に「多文化共生のまちづくり」

地方分権にふさわしい行財政経営

計画の概要

- 行財政改革の推進と住民サービスの充実
- 市民と行政との情報共有の推進

新規・特徴的な施策

- ✓ AI・RPAなどのICTの利活用による市民サービスの向上と業務効率化
- ✓ ネーミングライツなどの市有財産活用による自主財源の確保
- ✓ 多様な手段を活用した災害時における迅速でわかりやすい情報提供



▲新本庁舎1階つむぎモール

安全・安心な快適環境のまちづくり

豊かな環境を未来につなぐ

計画の概要

- 豊かな自然環境の保全と活用
- 循環型社会形成の推進
- 地球温暖化防止対策と再生可能エネルギーの利活用の推進



▲植樹祭

新規・特徴的な施策

- ✓ 木質バイオマスエネルギーの利用推進
- ✓ プラスチックごみの適正分別による資源化推進
- ✓ 食品ロスの削減と生ごみ資源化の推進
- ✓ 地球温暖化防止対策、気候変動の影響への適応策推進
- ✓ 再生可能エネルギーの利活用の推進、省エネルギーへの取組

良好、快適な生活環境の形成

計画の概要

- 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進
- 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通の活性化
- 安全・安心に暮らせる環境の整備
- 緑豊かな魅力ある都市環境の創出
- 安定した経営による上水道・下水道事業の継続
- 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進
- 地域防災力の向上と災害対応能力の強化



▲国道254号和子バイパス

新規・特徴的な施策

- ✓ 工コ通勤の推進による公共交通利用促進、ICTの活用による利便性向上と経営効率化
- ✓ 拠点集約型都市づくりの推進
- ✓ 国土強靭化地域計画の推進
- ✓ 空き家対策の推進
- ✓ ICTの活用による災害情報の収集や分析、伝達体制の充実
- ✓ 伝達手段の多様化・多重化による迅速・確実な防災情報の伝達



▲上田市防災訓練



誰もがいきいき働き産業が育つ まちづくり

次代へつなぐ農林水産業の振興

計画の概要

- 地産地消の推進と都市農村交流による活性化
- 農業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進
- 新** 森林の適切な経営管理と地域産木材の利用推進

新規・特徴的な施策

- ✓ スマート農業への支援
- ✓ 農福連携などの異業種交流による担い手の確保
- ✓ 森林経営管理制度による新たな森林管理
- ✓ 安定的な林業経営の支援、多様な担い手の確保・育成
- ✓ 都市部での上田市産木材の利用拡大



▲梶子ワイナリー

新たな価値を創造する商工・サービス業の振興

計画の概要

- 新しい産業の創出と中小企業者の経営力強化
- 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興
- 賑わいと活力ある商業の振興
- 安心して働ける環境づくりと就業支援

新規・特徴的な施策

- ✓ 最先端技術導入促進などによるものづくり産業の生産性向上と人材育成支援
- ✓ キャッシュレス化、ICT化によるサービスの生産性向上
- ✓ ニートやひきこもり状態にある若者への自立に向けた支援



▲大学と長野県企業との情報交換会 in 東京

魅力ある観光地づくり

計画の概要

- おもてなしで迎える観光の振興

新規・特徴的な施策

- ✓ 上田市観光マスターplanの策定
- ✓ 稼げる観光地づくりの推進
- ✓ 地酒・味噌・ワインなどの発酵文化の活用



▲上田城千本桜まつり

ともに支え合い健やかに暮らせる まちづくり

自分らしい豊かな人生を送る健康づくり

計画の概要

- 健幸都市* を目指した健康づくり事業の推進
- 安心して医療が受けられる環境づくり
- 高齢者がいきいきと安心して暮らせる仕組みづくり

新規・特徴的な施策

- ✓ 運動の習慣化と食育の推進による効果的な健康づくり事業の推進
- ✓ 感染症に対する予防対策の推進
- ✓ 高齢者のフレイルの予防・改善
- ✓ 高齢者の保健事業と一体化した介護予防事業の実施



▲あたま・からだ元気体操

* 健幸都市：3ページ参照

支え助け合う地域社会をつくる

計画の概要

- 共生社会の実現を目指す障がい者支援の充実
- 住民自らで支える地域福祉力の充実・強化
- 社会保障制度の適正な運用による福祉の増進

新規・特徴的な施策

- ✓ 「うえだ手話言語・情報コミュニケーション条例*」に基づく障がい者支援の充実
- ✓ 農福連携などによる障がい者の雇用環境の整備
- ✓ ひきこもり状態にあるかたへの支援強化



▲手話奉仕員養成講座

* 正式名称「上田市手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例」

子どもが健やかに育ち、子育ての喜び・楽しさが感じられるまちづくり

計画の概要

- 新** 出産・子育てしやすい環境の実現
- 新** 多様なニーズに応えるきめ細やかな子育て支援の充実

新規・特徴的な施策

- ✓ 子育て世代包括支援センターの充実
- ✓ 子ども家庭総合支援拠点の設置による児童虐待防止の体制強化
- ✓ 子どもの貧困対策の推進



▲子どもは地域の宝



生涯を通じて学び豊かな心を育む まちづくり

次代を担う人づくり

計画の概要

- 教育環境の整備と地域ぐるみの教育推進

新高等教育機関との連携による地域の
魅力や活力の向上

新規・特徴的な施策

- ✓ 「GIGAスクール構想」の実現と「わかる授業・楽しい授業」の実現による学力の定着・向上
- ✓ 地域の実情に合わせた子どもたちの安全・安心の推進
- ✓ 学校給食施設の計画的整備と食育の推進
- ✓ 「信州上田学」による大学との連携講座の開催
- ✓ 公立大学法人長野大学の教育・研究の充実に向けた連携



▲小学校でのプログラミング的思考の育成



▲まちづくり座談会（上田未来会議）

新しい時代を拓く生涯学習環境の整備

計画の概要

- 生涯学習の推進と学習環境の整備
- 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

新規・特徴的な施策

- ✓ 生涯学習団体の育成・支援、まちづくり活動に資する人材の育成
- ✓ 大学などとの連携による多様な学習機会の提供
- ✓ スポーツ施設整備計画に基づく施設整備推進
- ✓ 「みる」スポーツの機会提供
- ✓ 国際スポーツ大会時などの各国ナショナルチームの事前合宿の誘致推進



▲あたま・からだ健康フェア

文化を育み、交流と連携で風格漂う 魅力あるまちづくり

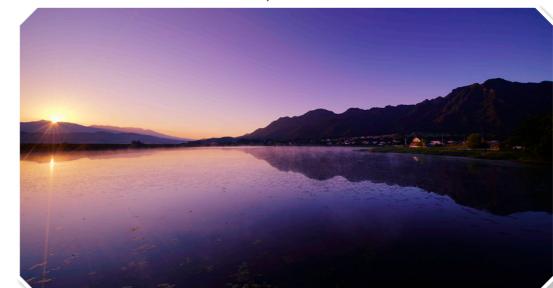
多彩な文化芸術の継承と創造

計画の概要

- 文化遺産の継承と活用
- 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造

新規・特徴的な施策

- ✓ ICTを活用した文化財の保存活用
- ✓ 文化財保存活用地域計画の策定
- ✓ 日本遺産を活用した観光振興とシビックプライドの醸成
- ✓ 地域に根ざした文化活動の支援
- ✓ サントミューゼを核に商店街などと連携した市民参加イベントによる交流とまちなかの賑わい創出



▲独鈷山と舌喰池（©岡田光司）



▲芸術家ふれあい事業「クラスコンサート」

交流・連携、移住・定住促進による活力ある都市づくり

計画の概要

- 上田の魅力発信、選ばれる都市づくり
- 交流・連携促進による地域の活性化

新規・特徴的な施策

- ✓ 官民一体となったシティプロモーションの展開
- ✓ 日本遺産のストーリーを含めた歴史や文化に関する生涯学習の機運醸成
- ✓ 地域外の人々との様々なつながりの構築による関係人口の創出・拡大
- ✓ 地域おこし協力隊員の受け入れと定住・定着の推進



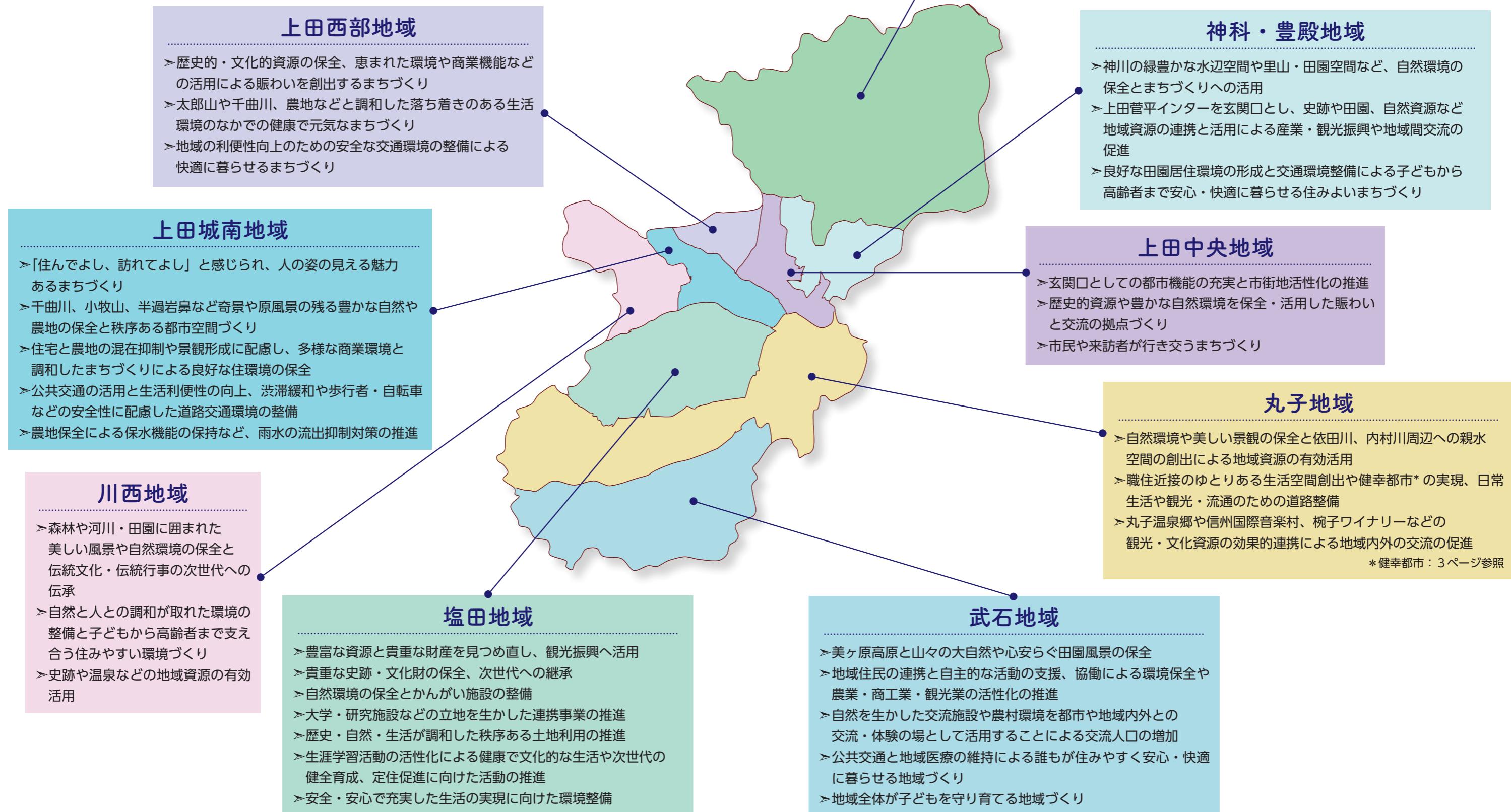
▲産業交流に関するフレンドシップ協定



▲東山観光農園りんごオーナー制度

地域の特性と発展の方向性

- 「地域の特性と発展の方向性」は、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、将来の発展に向け、地域が取り組むまちづくりの方向性を示すもので、各地域協議会での検討を経て策定しました。
- 市民、事業者、行政などが地域の特性を理解し、地域が目指すまちづくりの姿の共有が図れるよう総合計画の中で位置付け、地域内分権推進の取組において、各地域のまちづくり計画の策定を進めていきます。





ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市
第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画

令和3年3月発行

発行・編集 上田市政策企画部政策企画課
〒386-8601 長野県上田市大手一丁目11番16号
TEL: 0268-22-4100(代表) FAX: 0268-25-4100
上田市ホームページ <https://www.cityUEDA.nagano.jp>

計画の本文及び用語解説はこちらのページに掲載しています >>>

